

# 条例に盛り込む内容整理の流れ (市民参加)

条例に盛り込む内容案 (事務局案)	市民検討会で出された意見
<p>○ 市民は、市の基本的な計画又は重要な政策などの立案から実施、評価に至る過程において参画することができる。</p> <p>○ 市は、市民の意見がまちづくりに反映されるとともに、参画する機会が保障されるよう、多様な参加制度を整備しなければならない。</p> <p>○ 市は、市の基本的な計画又は重要な政策の策定を行う場合は、パブリックコメント（市の施策に関する基本的な計画、方針、条例等（以下「計画等」という。）の策定又は改廃に当たり、当該計画等の案の趣旨、内容その他の事項を公表し、広く市民等から意見を求め、これを考慮して市の意思決定を行うとともに、提出された意見の概要及び意見に対する市の考え方を公表する一連の手続をいう。）を実施するものとする。</p> <p>○ 市は、前項の規定により提出された意見に対する市の考え方を原則として公表しなければならない。</p> <p>○ 市は、基本的な計画又は重要な政策を策定するときは、パブリックコメントのほか、次に掲げる事項のうち一以上を実施するものとする。</p> <p>(1) 説明会 (2) アンケート調査 (3) ワークショップ (4) 意見交換会 (5) 審議会等 (6) 市民提案制度 (7) その他市長が必要と認めること</p>	<p>(1) 市民参加の方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パブリックコメントを他の市民参加の方法と並列して記載する。</li> <li>・市民参画の対象となる事項を明記する。</li> <li>・パブリックコメントは市民が参画しやすい方法ではないか。</li> </ul> <p>(2) 市民参加の対象について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市民参加の対象に「広く市民等に適用され、市民生活に重大な影響を及ぼす制度の導入又は改廃」を加える。</li> <li>・市民参加の対象を定義する。</li> </ul> <p>(3) 用語の表記、定義等について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・パブリックコメント等のカタカナ語が分かりづらい。</li> <li>・「基本的な計画又は重要な政策」の示す内容が明確でない。</li> <li>・パブリックコメントの中身の説明が必要。</li> <li>・「説明会」と「意見交換会」の違いは何か。</li> <li>・市民参加の方法の言葉の定義が必要。</li> </ul> <p>(4) 表現方法について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「多様な参加制度を整備しなければならない」という表現は具体的に何を意味するか分かりづらい。</li> <li>・策定、改廃といった言葉が分かりづらい。</li> <li>・「市民は、・・・参加することができる」の表現は参加に努める（努力義務）などに変える。</li> <li>・市民参加に関する市民の責務についてももう少し幅広く記載する。</li> <li>・「多様な参加制度の整備・・・」は「最大限市民の意見を取り入れる工夫・・・」にする。</li> <li>・「市は、・・・原則として公表・・・」の表現で原則としてを入れる理由は何か。</li> <li>・「市民が参画することが実感できるような」という表現を加える。</li> </ul> <p>(5) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市政に子供が参加できるようにしてもらいたい。</li> <li>・参画した後の権利（最終的な決定権）はどこにあるのか。</li> <li>・市民参加の機会を市民が知る方法が示されていない。</li> <li>・パブリックコメントの意見を公表しても市民全員に伝わるのか。</li> <li>・事務局案では市民みんなが参加できるかわからない。</li> <li>・「市は、・・・市の考え方を・・・公表しなければならない」で公表では検討したにとどまるので、結論を明確に残す必要がある。</li> </ul>

条例に盛り込む内容の整理

条例原案

条例草案

# 大牟田市まちづくり基本条例 市民検討会ニュース



## 条例前文について意見集約 第7回市民検討会開催！！



平成 26 年 7 月 31 日（木）に市役所において第 7 回市民検討会を開催しました。

はじめに、情報共有に関する条例に盛り込む内容について、前回の検討会で出された意見の紹介とそれらを整理した事務局案の説明が行なわれました。また、市民参加の意義・目的や前回行なったワークショップから導きだされた傾向などについて振り返りを行いました。

その後、5 班に分かれて市民参加の条例に盛り込む内容についてワークショップを行い、意見交換と意見集約を行いました。

さらに、条例の前文の検討に関するワークショップでは、「協働の必要性」や「まちづくりの将来像」、「市民の決意」等について検討し、前文に盛り込むためのキーワードの整理と発表を行いました。

最後に伊佐会長に総括をしていただき、人口が増加しているまちであってもコミュニティが存在しないところがある一方で、田舎であってもそこに住む住民が良いまちをつくる意志を持つことによって、他所から移住してくるまちとなった事例などを紹介していただきました。

### プログラム

1. 開会
2. 前回の振り返り
3. 班分け
4. 市民参加の確認
5. 前文の検討
6. 閉会





# 前文の検討について

今回は条例の前文について検討を行ないました。前文には「風土・歴史などのまちの特色」、「まちづくりの経過」、「協働の必要性・まちの課題」、「まちづくりの将来像」、「市民の決意・思い」などの内容を盛り込みます。検討会では、「協働の必要性・まちの課題」、「まちづくりの将来像」、「市民の決意・思い」について意見交換を行い、「高齢化」、「人口減少」、「若者の流出」といったまちの課題に関するキーワードや「生きがい」、「思いやり」、「人づくり」、「希望」、「誇れるまち」などのこれからのまちづくりにとって大切になるキーワードが導きだされました。

## ○前文検討において導きだされたキーワードなど

		イメージすることば	導き出されたキーワード
1班	協働の必要性、まちの課題	○福祉課題、高齢者問題、市民・行政の共通認識、市全体の危機感の共有、協力、心の繋がり、コミュニティ、若者の流出、子供たちが夢・希望を持てるまち、積極的な市民参加、役割、市民活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢化</li> <li>・人口減</li> <li>・協働</li> </ul>
	まちづくりの将来像	健康、愛着のあるまち、誰もが生きがいが持てる、(子供・高齢者)ひとにやさしいまちづくり、安心安全、福祉のまち、共に発展すること、だれもが住みたい、地域の絆	
	市民の決意、思い	郷土愛、未来につなぐ、課題を魅力に、共生、誇れる	
2班	協働の必要性、まちの課題	少子高齢化、介護施設の充実、市民みんながまちづくりに無関心でいられない、地域のつながり、災害に弱い、若い人の働き口が少ない、資源を有効に利用し新しい産業の育成、特徴的・個性的な産業・サービスの育成、新たな歴史と文化を育むまちづくり、住んで良かったと思えるまちづくり、住み良いまちづくり、活気あふれるまちづくり、先人が築き上げた歴史あるまち、持続可能なまちづくり、高齢者や子供が住みやすい都市、子供たちの誇りに思えるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化</li> <li>・地域のつながり</li> <li>・住んでよかったと思えるまちづくり</li> <li>・住み良いまちづくり</li> <li>・活気あふれるまちづくり</li> <li>・先人たちが築き上げた歴史あるまちづくり</li> </ul>
	まちづくりの将来像	地域社会を市民と共に発展させる、市の観光を目玉とし市民と協働する、住みたいまち、住みやすい住みたくなる都市、高齢社会に打ち勝つまちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者や子供が住みやすい都市</li> <li>・子供たちの誇りに思えるまち</li> </ul>
	市民の決意、思い	自ら参加、住民自ら考える、お互い思いやり助け合える、市民と団体との共有を図り発展していく、子供たちの未来のために	<ul style="list-style-type: none"> <li>・住民自ら考え決める</li> </ul>

3班	協働の必要性、まちの課題	若者が生きていける場の少なさ、価値観の多様化、町内公民館の加入率の低下、財源減、人口減少(急速な少子高齢化)、空き家の多さ(街の空洞化)、年代の構成バランスの悪さ、市民と行政の意識改革、市民と行政の役割分担	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティの希薄化</li> <li>・まちの空洞化</li> <li>・希望が持てるまち</li> <li>・教育が重視されるまち</li> </ul>
	まちづくりの将来像	気持ちの良い挨拶が交わされる街、希望が持てる街、誰もが生き甲斐を持てる、高齢者が多いことをプラスとする街(起業の促進(一人暮らしの高齢者の宅配充実))、まちづくりのための人材育成の継続、子供たちが夢と希望を持って健やかに成長できる、街づくりは人づくり(子供の教育)の意識が広がる街	
	市民の決意、思い	高齢者をプラスとするまちづくり、地域が自立的に地域のことを決める、市民がまちづくりに参加することが期待される、市民と市民が協働	
4班	協働の必要性、まちの課題	市民がまちづくりの主役であるという意識を持って、つながりが薄くなった地域、市と市民それぞれの役割と責任を理解して、	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主体性</li> <li>・つながり</li> <li>・役割分担・相互補完</li> </ul>
	まちづくりの将来像	地域コミュニティの復活、地域で見守り安心して住み続けられるまちづくり、地域の関わりを大切にして市がサポートしていく、地域福祉力の向上、生み育て住み続けられるまち、郷土愛を育む、対等(市と市民)、若い人が挑戦できる環境づくり、高齢者が生き甲斐を持てるまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域</li> <li>・ひとづくり</li> <li>・協働</li> <li>・生きやすい環境</li> <li>・協働</li> </ul>
	市民の決意、思い	市と市民が一体となってまちづくりを推進していく、継続したまちづくり、地域のことを地域で決める、子供たちが夢を持てるまちへ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続</li> <li>・地域の主体性</li> <li>・子育て</li> </ul>
5班	協働の必要性、まちの課題	消滅可能都市、人口減少、若年女性の減少、10代がいなくなる、少子高齢化の進行、核家族化・単身世帯の増加、隣近所との関係(人間関係)の希薄化、地域の絆、寄り添い、価値観の多様化、まちの魅力、産業の衰退	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少子高齢化、人口減少</li> <li>・地域のつながりの希薄化</li> <li>・まちの魅力の減少</li> </ul>
	まちづくりの将来像	子ども・若者・大人・高齢者の年齢バランスが良いまち、ゆるやかで自由なつながり、一人ひとりの尊厳を尊重、一人ひとりがみんなのために、思いやりのあるまち、地域のつながりが強い、老若男女交流の場づくり、10代のまちづくり構成、若者女性まちづくり構想、にぎやかで活気あるまち、誰もが自分らしく生き生きと暮らしている、一人ひとりが楽しく、一人ひとりが役立てる実感が味わえる	
	市民の決意、思い	一人ひとりが自ら考えみんなのためそれぞれが自分ができることを自ら考え動く、若年女性が生き甲斐のあるまちづくりの推進、過去を振り返らず未来を創造していくまちに、10代が雇用を創り出すまちづくり制度の導入、市民と行政が力をあわせてまちづくり	